

【目次】

1. 日本労働会館 2017 年度第 3 回理事会を開く、3 月 27 日！
2. アジア連帯委員会 CSA 評議員会に参加、3 月 23 日！
3. 連載「日本労働会館物語」第 72 回—戦後民主化のリーダー 片山哲 その 4—

1. 日本労働会館 2017 年度第 3 回理事会を開く、3 月 27 日！



一般財団法人日本労働会館は 3 月 27 日（火）15 時から 2017 年度第 3 回理事会を開催しました。理事会は小出幸男理事長に代わり、徳田孝蔵副理事長が開会挨拶と司会進行を務め、事業報告では①友愛労働歴史館事業報告（間宮事務局長）、②労使関係研究協会事業報告（滑川事務局長）、③宿泊（三田会館）事業報告（兼次部長）を、それぞれ報告通りに確認しました。

次いで 2017 年度決算予測を滑川太一常務理事が行い、その後、議案 1「2018 年度事業計画（案）承認の件」の審議に入り、①友愛労働歴史館事業計画、②労使関係研究協会事業計画、③宿泊（三田会館）事業計画を、各担当者がそれぞれ提案しました。宿泊事業や労使関係研究協会の活動について意見・質問がされましたが、提案通りに承認。また、議案 2「2018 年度予算（案）承認の件」も、提案通りに承認しました。

2. アジア連帯委員会 CSA 評議員会に参加、3 月 23 日！



アジア連帯委員会 CSA 第 15 回評議員会が 3 月 23 日午後、連合会館で開催されました（写真は今年の総会）。日本労働会館から間宮悠紀雄友愛労働歴史館事務局長が出席しました。評議員会の詳細は略しますが、今年もアジア連帯委員会は、①救援衣類を送る活動、②小学校の建設・補修活動、③高校生寮の支援活動などに取り組んでいきます。

現在、連合は「連合・愛のキャンパ」によりアジア連帯委員会の活動を支えています。「愛のキャンパ」運動は、旧同盟（かつての中央労働団体。現在の連合）が「愛のミルクキャンパ」運動として取り組んでいたものを、連合が引き継いだものです。

しかし、「愛のキャンパ」運動は、さらに遡れば国際自由労連 ICFTU（現在の国際労働組合総連合 ITUC）の活動としてスタートしています。国際児童年の 1979 年、ICFTU はユニセフ（国際児童基金）の要請に応え、「発展途上国の飢えている子供たちを救おう」と「愛のキャンパ」運動を展開。当時、ICFTU に加盟していた同盟は、「愛のミルクキャンパ」運動として取り組みました。

その後、運動は当初の発展途上国の飢餓に苦しむ児童の救済に加え、1982 年にインドシナ難民支援、1985 年に南アのアパルトヘイト（人種差別政策）抗議運動支援へと広がりました。当時、インドシナ半島の共産化によりボートピープルとして祖国を逃れた難民の救援活動に取り組んでいたインドシナ難民共済委員会（後に連帯委員会）は、この同盟「愛のミルクキャンパ」に支えられ、その後、活動の幅を広げて現在のアジア連帯委員会 CSA へと発展したのです。

3.連載「日本労働会館物語」第71回—戦後民主化のリーダー 片山哲 その4—

今回の「日本労働会館物語」の「戦後民主化のリーダー 片山哲 その4」では、片山内閣を支えた3名の学者・大臣を紹介いたします。閣僚を務めた学者・政治家とは、鈴木義男（司法大臣、法学者、弁護士、教育者、衆議院議員）、森戸辰男（文部大臣、学者、教育者、文化功労者、衆議院議員）、そして波多野鼎（農林大臣、学者、参議院議員）です。



片山内閣で司法大臣を務めた鈴木義男(1894. 1. 17～1963. 8. 25)は、福島県白河市生まれ。東京帝国大学卒業後、東北帝国大学教授。1945年の日本社会党結成に参加。党中執、文教部長となり、憲法草案の作成に関与しています。1946年の衆議院選挙で当選し、片山内閣・芦田内閣で司法大臣・法務総裁。以後、衆議院議員に7回当選。後に専修大学教授、同学長となります。1960年の民社党結党に参加。

最近、NHK テレビは鈴木義男が「日本国憲法第25条の生存権規定に大きな役割を果たした」「平和主義に寄与した」として紹介。また、東北学院大学は憲法公布70年の2017年、公開講演会「鈴木義男と平和憲法」と公開シンポジウム「平和憲法と鈴木義男」を開催しています。



片山内閣で文部大臣を務めた森戸辰男(1888. 12. 23～1984. 5. 28)は、広島県福山市生まれ。東京帝国大学を卒業後、東京帝大経済学科助教授。1920(大正9)年の「森戸事件」で有罪となり、出獄後大原社会問題研究所に勤務。大阪労働学校、神戸労働者学校に関わり、西尾末廣らと親しくしています。1945年に日本社会党へ参加し、1946年の衆議院選挙で当選。片山内閣・芦田内閣で、文部大臣を務めています。1950年に政界を去り、広島大学初代学長に就任、中央教育審議会会長などを歴任しています。

森戸辰男は1949年の社会党再建大会で起きた「森戸・稲村論争」の当事者で、本論争は右派を代表する森戸辰男の国民政党政論と、左派の稲村順三の階級政党政論が激突したものです。



片山内閣で農林大臣を務めた波多野鼎(1896. 3. 30～1976. 9. 29)は、愛知県生まれ。1920年に東京帝大卒業後、満鉄東亜経済調査局に勤務。在学中、東大新人会メンバーで、社会思想社同人。1922年に同志社大学教授となり、大阪労働学校の教師を務めています。1930年に九州大学法学部助教授、その後、同教授。

戦後の1946年、九州経済調査協会を創立し、会長に。翌47年に福岡選挙区で参議院議員に当選し、片山内閣では平野力三罷免後の農林大臣に就任しました。その後、中央大学教授、社会党中央執行委員、参議院予算委員長などを務め、1951年に民主社会主義連盟(後の民主社会主義研究会議、現在の政策研究フォーラム)の創立に参加し、事務局長。1960年の民社党結党にも参画しています。1953年に中京大教授を務める傍ら中部経済研究会、労働文化研究所を創立し、労働運動の民主化、民主的労使関係の確立に大きな役割を果たしています。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

唯一館から124年、友愛会から106年
